

平成28年度 第5回 府中市文化財保護審議会議事録

日時 平成29年2月14日（火）午前10時

場所 北庁舎第1会議室

出席者 田中会長、猿渡副会長、坂詰委員、中村委員、馬場委員、福嶋委員、八木橋委員 以上7名

事務局 江口課長、渡辺補佐、荻野事務職員、廣瀬事務職員

傍聴者 なし

会長 それでは、報告事項（1）について、説明してください。

報告事項（1）旧越智家住宅の工事について

事務局 報告事項（2）と併せて後ほど現地をご視察いただきますので、ここでは概要のみご報告させていただきます。

旧越智家住宅はハケ下の農家として江戸時代後期から昭和期まで使われていた茅葺の農家です。戦後すぐに旧押立村（稲城市）から移築されて以来、稲作を中心に畑作や養蚕を営んで来た越智家の母屋として使われてきたものです。越智家のある旧芝間村は現在の府中市南町6丁目付近で、府中市の南部で立川段丘の崖下に広がる水田地帯の村です。現在の郷土の森博物館はその東側に隣接しております。

この農家は寄棟造りの屋根と広場を中心とした部屋割りなど古い形式を伝えております。昭和48年に解体された古い木材を使用して、多摩川からの強い風から母屋を守った防風垣とともに昭和62年に郷土の森博物館に復元されたものでございます。

建築面積は65㎡で延床面積も同様で、木造の茅葺屋根です。

創建は江戸時代後期に遡ると考えられておりますが、長い年月の間に改良・増築を繰り返されたのですが、郷土の森博物館で創建当時の姿で復元されたものです。

これまでの経過は、平成14年度に屋根の葺き替えを実施しましたが、それ以降に経年劣化と虫や鳥の害により部分的に劣化が進み、茅の欠損が生じております。また、一部、茅を支える竹が破損したことで、屋根自体が湾曲している箇所もあり、かなり悪い状態になっています。

本来、茅葺屋根は10年程度で挿し茅をし、20年程度で全面葺き替えをしますが、前回の補修より10年以上経過して非常に劣化が進んでいる状態です。

昨年度、現地をご視察いただきました、市の指定文化財である旧河内家住宅の次にこちらの屋根の保存改修工事を実施させていただくことになったものです。

お配りした資料1は、先生方用ということで、まず契約書の鏡文を付けてあります。工事期間は昨年12月15日から今年3月17日までです。次ページからA3版の工事図面で、図面番号201が立面図の南面で新規に茅葺きをします、202が立面図の北面、203が立面図の西面と東面、204が桁行の断面図で今回は天井スノコも新規取替えとなります。205が梁行の断面図、206が天井伏図、207が屋根伏図です。

以上です。

会長 工事はだいぶ進んでいるということですね。

事務局 現地でもご案内させていただきますが、今週18日の土曜日に屋根の葺き替え工事の現場見学会を開催します。ということで今が一番見学していただくに良い時期です。詳細につきましては後ほど現地で担当の学芸員と施行業者の社長から説明させます。

馬場委員 平成14年度のときより大掛かりですか。

事務局 平成14年度のときと同じ規模で大掛かりです。

会長 そうすると15年くらいで全部葺き替え直しになるのですか。

事務局 10年以上経過して、特に腐朽が進んで屋根の軒垂が著しく進行しておりまして、このまま放っておくと雨漏りする可能性もあるということで今回全面的な葺き替えをさせていただき形になりました。

福嶋委員 茅を集めるのは大変だったと思いますが、何処から茅を採集したのですか。

事務局 いくつか採集地があるのですが、今回は富士山の裾野の方で調達していただきました。

八木橋委員 私は、たまたま12月17日に市史編さんの関係であの辺りを歩いたのですが、未だ工事が始まっていなかったのですが、実際はいつから工事

が始まったのですか。

事務局 年明けの1月からです。

八木橋委員 もう1軒の住宅のときも茅葺の下地として途中で杉皮を葺いたのですが、また同じ形式で実施するということですね。

事務局 はい、同じ形式で工事します。

会長 こういう形式で契約となると入札でやるのでしょうか。そんなに沢山の業者が居るのですか。

事務局 沢山は居りませんので私達の方で現場の工事を適正に実施していただけるかの実績を調べまして業者を選定して入札に掛けるという段取りをしました。

今回は、八大建設という市内業者さんが落札しました。

会長 そうすると、旧河内家住宅の葺替え工事をした業者とは違うのですか。

事務局 はい、違います。旧河内家住宅の方は越乃かやぶきという新潟の業者さんが受注されました。正確には見積合わせという設定手続きにより決まりました。

会長 契約金額の約1500万円というのは安いのかな。

八木橋委員 屋根だけですからね。

会長 そうしたことなのでしょうけれど。

事務局 設定価格は2000万円近くでしたので、受注の段階でかなり安くはなっています。

会長 ありがとうございます。では報告事項(1)は終わりにして、報告事項(2)について事務局の説明を求めます。

報告事項(2) 旧府中尋常高等小学校校舎改修等工事について

事務局 これは、昭和10年に建てられた府中尋常高等小学校の校舎の中心部分を郷土の森博物館に移築・復元されたものです。

当初は教室35、特別教室4、来賓室、応接室、職員室各1が大きなコの字型に配置され、延床面積は6270㎡・約1900坪で北多摩郡随一の規模と言われておりました。

戦争中は『府中国民学校』、戦後は『府中第一小学校』と校名は変更しましたが、昭和54年の新校舎建設までの約43年間に多くの子供たちがこの校舎から巣立っております。

郷土の森博物館の開設に先立つ昭和58年に博物館に移転されまして、共有資料展示室、平成15年2月に開設された詩人村野四郎記念館の他、現在は多摩川ふれあい教室として国土交通省所管の多摩川センターが受託して土日を中心に子供たちが魚に触れ合う教室が開催されたりと利用されております。

建築面積は326.48㎡、延床面積は635.51㎡で規模は地上2階建、構造は木造瓦葺の屋根、旧所在地は府中市寿町2丁目6番地、バルコニーを持つ木造2階建てで、その中心部分を復元したものです。

これまでの経過ですが、大規模な保存改修工事は実施されておられません。外壁の劣化が進み、塗装の剥離・腐朽が各所で起こっております。それにより窓枠が落下するとか2階の手摺のぐらつきなどが認められ、これまで危険な所は適宜補修を加えておりましたが、建物全体の木部が劣化している、塗装が剥離してそのままでは窓枠自体が落下して危険だということで放置できないから、工事の予算化をいたしました。

工事内容は、外壁の改修と窓枠の修繕、屋根の点検・修理、外壁の塗装です。

お配りした資料2はまず工事契約書の鏡文で、工期は昨年12月27日から今年3月17日まで、次ページからが工事図面で、図面番号201が南側立面図、202が北側立面図、203が東側と西側の立面図、204が下から見上げた外枠図、205が屋根の伏図、206が建具の姿図です。

以上です。なお、越智家住宅と同様に詳細は現地でご説明させていただきます。

会長 これはどういう業者に決まったのですか。

事務局 先ほどと同じく文化財の保存改修に実績のある建築業者さんに入札に参加していただき、同じく八大建設が受注していただきました。

馬場委員 この改修は外側だけなのですね。中の資料は動かしたりしなくて済んだということですね。

事務局 はい。そのとおりです。

中村委員 この建物の耐震性はあまり問題にならないのですか。

事務局 現状の文化財的な建造物として移築・復元されておまして、その段階でも耐震診断では一応大丈夫ということになっておりますが、なにぶん老朽化が全体で進んでおります。この前の3. 1 1の大地震でも大丈夫だったので、それ以上の地震が来たときは、避難訓練とかで対処する予定です。

会長 あとは現地で直接担当者に聴くということによろしいですか。では報告事項（2）は終わりにして、報告事項（3）について、事務局の説明を求めます。

報告事項（3）川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業の概要について

事務局 1の開催趣旨及び目的ですが、江戸時代中期、押立村（現在の東京都府中市押立町）で生まれた川崎平右衛門定孝は、徳川幕府八代将軍吉宗の時代に、武蔵野新田の経営をはじめ、玉川上水や多摩川の大掛かりな治水工事に尽力しました。その業績によって、幕府代官として取り立てられ、その後石見銀山などに赴任し、治水や銀山経営で功績を残し、明和4年（1767）6月6日、74歳で生を閉じました。

この川崎平右衛門の功績を称え、偉業を後世に伝えるために、府中市市談会の初代会長渡辺紀彦氏の研究をはじめ、郷土の森博物館でブロンズ像を制作するなどの取組がこれまで行われてきました。また、平成21年には、郷土の森博物館で特別展「代官川崎平右衛門ー時代が求めた才覚の人ー」が開催されております。

本年、平成29年が、川崎平右衛門没後250年に当たることを記念し、川崎平右衛門ゆかりの自治体に参加を呼びかけ、川崎平右衛門の事績を顕彰するとともに、その事績を活かしたまちづくりにつなげていくことを目的とした“川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業”を本年度開催したいと考えております。

資料3の2ページの2 実施事業ですが、平成29年5月20日（土）、21日（日）の2日間で、記念事業を実施するほか、この日程以外にも関係各所と

協働で、次のとおり関連事業を実施します

(1) 記念事業として平成29年5月20日(土)、21日(日)に府中の森芸術劇場を会場として大きく3点の事業を実施します。

川崎平右衛門サミット・シンポジウムは、日本各地の「川崎平右衛門」ゆかりの自治体にお集まりいただき、川崎平右衛門の事績を活かしたまちづくりにつなげていくための場として、「川崎平右衛門サミット・シンポジウム」を開催します。

川崎平右衛門合唱構成劇「武蔵野の歌が聞こえる」は、小金井市の方で現在NPO現代座という劇団があるのですが、川崎平右衛門を描いた合唱構成劇「武蔵野の歌が聞こえる」を製作していただいております、それを当日公演します。

平野啓子氏語り公演「川崎平右衛門 物語(仮称)」は、語り部・かたりすとして全国的に有名な武蔵国府中大使でもある平野啓子氏をはじめとするかたりすとメンバー自らが取材した川崎平右衛門の偉業をドラマチックに語り伝えます。

(2) 関連事業の説明です。

「川崎平右衛門ー武蔵野新田開発の立役者ー」展は、江戸東京たてもの園展示室で5月7日まで開催中です。おもに川崎平右衛門が武蔵野新田の復興にあたって実施した資金運用の仕組みや玉川上水工事の様子などに焦点を当てて紹介しています。

郷土の森博物館に川崎平右衛門展示コーナーを5月から7月まで設置し歴史講座等を開催する予定です。

記念事業実行委員会が主催して、府中市歩こう協会、むさしの歩こう会、木谷ウォーキング研究所が構成メンバーとなる川崎平右衛門ウォーク実行委員会が4月に府中市、5月に埼玉県鶴ヶ島市を皮切りに、東京都・埼玉県のゆかりの新田を中心に、記念ウォークを開催します。

名勝小金井桜植樹式を実施します。NPO法人 小金井桜を復活する会が、郷土の森博物館梅まつりにあわせて名勝小金井桜の植樹式を実施します。時期は丁度梅まつりの開催期間にあたります。

以上です。

福嶋委員 小金井桜ですが、玉川上水沿いにまた植えるということですか。それとも小金井桜というヤマザクラを府中に植えるのですか。

事務局 今回のプランでは、川崎平右衛門の銅像が郷土の森博物館にありまして、その脇にサンシュユが植わっております。小金井桜を育てている団体が府

中市の環境保全センターのメンバーでもありまして、そちらからのご要望で、その苗木を郷土の森博物館の平右衛門広場に近い土手に新たに5本ばかり植えましょうという計画です。

福嶋委員 分かりました。名勝小金井桜とあるから、てっきり玉川上水の土手に植えるのかなと思ったものですから。良いですね。ヤマザクラでしょうか、おそらく桜上水とかから持ってくるのでしょうか。養生して育てているといえますね。

事務局 はい、そのNPO法人が自分達で育てている苗圃があるのです。

福嶋委員 くれぐれもオオシマザクラとか他種が入らないように植えてください。このあいだ、玉川上水を一橋大学から小金井公園までずっと歩いて一本々調べたのですが色々な種類の木が生えていました。ヤマザクラが一番多いですが、オオヤマザクラとかオオシマザクラとかの他種やカンザンも入っていました。ソメイヨシノもありました。基本的には昔なのでソメイヨシノなど無いのでヤマザクラだけだったでしょう。オオヤマザクラやカスミザクラなどの他種は無いでしょう。ヤマザクラ以外はこの辺には自生していない種類なのです。ヤマザクラのみに限定して育てているでしょうから安心して良いとは思いますが。

馬場委員 この事業は全体でどれ位の予算なのですか。

事務局 それは3月の予算特別委員会でご審議いただきますが9、888、000円です。

会長 5月20日と21日のシンポジウムがメインでしょう。カタリストというのかな語り部なのか。

事務局 5月21日の午前中に劇団の劇の鑑賞会がありますので、そちらからも是非ご出席いただきたいのと昼からのシンポジウムにもご出席いただく予定です、21日を1日空けておいていただきたいです。

会長 希望者が多くて入れないことあるのかな。

事務局 500人定員ですので大丈夫です。

福島委員 会場は階段みたいになっている所かな。

事務局 2案考えております。劇を劇場の向かって左奥のふるさとホールという寄席や歌舞伎の劇場のような和風の作りの場所で行う案と、サミットとシンポジウムは平成の間を使うことを想定していたのですが、もしかすると両方ともふるさとホールで行うかもしれませんが検討中です。

会長 ふるさとホールは定員300名位ですか。

事務局 500名です。

猿渡委員 平野さんの公演はいつですか。

事務局 平野さんのは、20日の昼からと、21日の昼からの2回を想定しています。先生方は21日の方で合唱構成劇と共にお聞きいただければと思います。

会長 平野さんのファンは200人位居るのではないかな。

事務局 それを是非期待しております。ふるさとホールが満杯になることを期待しております。

会長 平野さんは地元の人気者だから、そんな気がする。

猿渡委員 これの申込みは抽選ですか。

事務局 20日の昼からの回は有料公演としてチケット販売させていただき、一般市民の方に来ていただきたいです。20日の午前中の劇は学校の子供たちに、21日の方は関係者のみの公演と考えております。

会長 では、議題はこれですべて終了とします。

今回は平成28年度第6回文化財保護審議会です。日程は3月23日(木)午前10時から、3月24日(金)午前10時から、同日午後2時からのいれかを候補として、日程を調整することに決まりました。